

2026 年度静岡大学外国人留学生特別選抜
アジアブリッジプログラム(学士課程)
学生募集要項(第2次募集)

Shizuoka University



National University Corporation

Shizuoka University

目次

| | |
|--------------------------------|-----------|
| 静岡大学の「入学者受け入れの方針(アドミッションポリシー)」 | 3 |
| 各学部の入学者受入の方針(アドミッション・ポリシー) | 3 |
| I 募集人員 | 5 |
| II 出願資格 | 5 |
| III 出願要件 | 6 |
| IV 出願手続き | 6 |
| 1. 提出書類等一覧 | 7 |
| 2. 出願方法 | 9 |
| 3. 出願期間 | 9 |
| 4. 出願から入学までの日程 | 9 |
| V 選抜方法 | 10 |
| 1. 選抜方法・配点 | 10 |
| 2. 第二次選抜について | 10 |
| VI 合格発表 | 11 |
| VII 入学手続きと入学日 | 11 |
| VIII 注意事項 | 11 |
| 1. 入学検定料および授業料 | 11 |
| 2. 入学に係る初期費用(概要) | 11 |
| 3. 入学後の住居および生活費 | 11 |
| 4. 問い合わせ先 | 11 |
| 5. 試験結果の開示申請 | 12 |
| 6. 個人情報の取扱いについて | 12 |
| 7. 安全保障輸出管理について | 12 |
| [別表 1] 各学部が求める日本語能力の目安 | 12 |
| [別表 2] GCE・A レベル資格の扱いについて | 12 |
| [別表 3] 出願に必要な受験科目 | 13 |

静岡大学では、社会の変革を担うイノベーション人材として、グローバルに活躍する熱意を有するインド共和国、インドネシア共和国、ミャンマー連邦共和国、タイ王国、ベトナム社会主義共和国からの外国人留学生のための入学者選抜試験を実施します。10月に入学した後は志望した学部へ籍を置き、半年間の初学期教育(日本語、数学等)を経て、一般学生と共に教養教育および専門教育課程で学び、4年間で卒業します。なお、入学後の授業は原則として日本語で実施されます。各学部が求める日本語能力の目安は、[別表1](p.12)に示すとおりです。

静岡大学の「入学者受け入れの方針(アドミッションポリシー)」

【育てる人間像】

静岡大学は、教職員、学生が共に「自由啓発」を基盤として、平和で幸福な「未来創成」をめざします。この基本理念の下、地球の未来に責任をもち、アジアをはじめ諸外国との関わりをもつ国際的感覚を備え、高い専門性を有し、失敗を恐れないチャレンジ精神にあふれた人格を育成します。こうした人格こそが、社会の様々な分野でリーダーとして、21世紀の解決すべき問題を追求し続ける豊かな人間性を有する教養人です。

【目指す教育】

感性豊かな知性を育てるために、フィールドワーク、ものづくり体験、地域づくり、子どもと共にそだちあえる学校や地域の場に接する機会を活用します。それによって刺激を受けた人間力を、基礎と応用の分野での学習・研究に反映させます。

【求める学生像】

失敗を恐れず若々しいチャレンジ精神をもち、人の意見によく耳を傾け、それに学び、協調性豊かに自己主張ができる人の入学を期待します。

* 「自由啓発」・「未来創成」については、本学ホームページの「大学案内」>「理念と目標・取組」>『理念と目標』(<https://www.shizuoka.ac.jp/outline/vision/goals>)をご覧ください。

* 静岡大学では「多様な選抜」で「多様な人材」を求めており、一部の学部・学科において専門学科及び総合学科枠等の出願資格の限られた募集区分を設けています。

【アジアブリッジプログラムが育成する人材像】

理工系の専門性に経営的思考、文系の専門性に理工学的思考をあわせ持ち、広い視野のもとでアジアを中心とする海外で中核となって活躍する人材。

育成する人材には、将来的に次のような貢献が期待されています。

- ・ アジアの各地で、生産・販売・営業の拠点をマネジメントする。
- ・ 現地人材として日本語で工業・農業・情報通信等の技術を語ることができ、日本企業の技術力・事業力を活かした海外展開を推進する。
- ・ 教育学部卒業生は、日本の教員免許(卒業要件)を取得し、グローバルな視点で学校教育を推進する。

各学部の入学者受入の方針(アドミッション・ポリシー)

◆教育学部

【育てる人間像】

豊かな人間性と幅広く深い教養を基礎として、教育に関する専門的知識を踏まえた実践的指導力を身につけるとともに、変化の激しい時代の中で新たに生ずる教育課題の対応に向けて主体的に学び続け、他者と協働的に課題の解決に取り組むことのできる教員を育成します。

【目指す教育】

教育に関する理論に基づく学究活動と実践的な体験活動を通して、教職に対する強い情熱を持つとともに、教員に必要な専門的知識や技能、様々な教育課題に対応できる問題解決力や創造力等を身につけることができる教育を行います。

【求める学生像】

教育問題や教育活動に関心が高く、教職への適性・志向性をもつとともに、教員として必要となる基礎的な知識や技能、新しい課題を解決するための思考力・判断力・表現力、および他者と協働的に課題に取り組むことを可能にするコミュニケーション力等を備えた人の入学を期待します。

【大学入学までに身につけておくべき教科・科目等】

教育学部が行う入学者選抜試験は、受験者が上記の「求める学生像」を満たす人であるかどうか、入学後に学習を進めていくために必要な力を有するかどうかをはかるものです。志願者は、志望する専攻・専修に課されている試験の科目について、幅広く学習を進めるだけでなく、日頃から教育問題や教育活動に関心をもっておくことが望まれます。

【入学者選抜の基本方針】

豊かな人間性と幅広く深い教養を基礎として、教育に関する専門的知識を踏まえた実践的指導力を身につけるとともに、変化の激しい時代の中で新たに生ずる教育課題の対応に向けて主体的に学び続け、他者と協働的に課題の解決に取り組むことのできる教員の育成を目指し、そのために必要となる能力・学力・適性等を、次の各試験において判断します。

《外国人留学生特別選抜 アジアブリッジプログラム》

1. 日本留学試験・日本語能力試験・英語資格試験:教育学部で学ぶに際して必要不可欠な基礎学力を判断します。
2. 面接:教職に必要な能力・学力・適性等を評価するとともに、日本における教育・教員養成についての理解と日本の学校で実施する教育実習等の履修に必要な日本語の運用力を判断します。

【入学者選抜方法における重点評価項目】

| 入試区分 | 学科 | 入学者選抜方法 | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力 | 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 |
|----------------------------|--------|-------------------------------|-------|-------------|-----------------------|
| 外国人留学生特別選抜 アジアブリッジプログラム | 全専攻・専修 | 日本留学試験・ 日本語能力試験・ 英語資格試験 | ○ | ○ | |
| | | 面接 | ○ | ○ | ○ |

◆理学部**【育てる人間像】**

高い専門性ととも幅広く深い教養・豊かな人間性・国際感覚を身につけた社会に貢献できる人を育成します。

【目指す教育】

自然界の真理の探究、科学の進展と応用を通じて人類の幸せに寄与することを目指した教育を行います。

【求める学生像】

知的好奇心や探究心を強く持って未知へ挑戦する情熱ある人の入学を期待します。

【大学入学までに身につけておくべき教科・科目等】

理学部が行う入学者選抜試験は、受験者が上記の「求める学生像」を満たす人であるかどうかをはかるものです。「未知への挑戦」のためには幅広い基礎知識が必要です。したがって、入試種別に関わりなく、特定の教科・科目にかたよらないよう、高校までに学習する全ての教科と科目についての基礎知識を習得しておくことが必要です。

【入学者選抜の基本方針】**[数学科]**

現代数学の基礎的分野について確実な知識を持ち研究・教育・応用いずれの方面に進んでも、それぞれの創造性を十分発揮できるような人材の養成を目標に、そのための能力・学力・適性等を、各試験において判断します。

[物理学科]

物理学の基本となる力学、電磁気学、統計物理学、量子力学などの科目を通じて、物理学的な考え方や数学的手法を学び、自然現象の本質を探究する研究や科学技術の研究開発に必要な基礎学力と論理的で柔軟な思考能力を身につけて、社会や学問の発展に貢献できるような人材の育成を目的に、そのための能力・学力・適性等を、各試験において判断します。

[化学科]

物理化学、無機化学、有機化学、生物化学などの化学の幅広い理論や技術を学び、自然科学の分野におい

て活躍できる人材の育成を目的に、そのための能力・学力・適性等を、各試験において判断します。

[生物科学科]

生物科学についての理論と技術を幅広く学び、生物科学の諸問題に対応できる人材の育成を目標とし、そのための能力・学力・適性等を、各試験において判断します。

[地球科学科]

地球科学についての理論と技術を幅広く学び、地球科学の諸問題に対応できる人材の育成を目標とし、そのための能力・学力・適性等を、各試験において判断します。

[創造理学(グローバル人材育成)コース]

基礎科学の各分野における学識とそれに基づいた問題解決能力を備え、英語による情報の収集・発信を行う力や国際感覚を持ち、各分野の知識・技術を社会に活かすイノベーションの感覚を持ってグローバルに活躍できる人材の育成を目標とします。そのための能力・学力・適性等を、各試験において判断します。

《外国人留学生特別選抜アジアブリッジプログラム》: 数学科、物理学科、化学科、生物科学科、地球科学科

1. 日本留学試験・日本語能力試験・英語資格試験: 理学部で学ぶに際して必要不可欠な基礎学力を判断します。
2. 面接: 適性、意欲、熱意、表現力などを総合的に判断します。

【入学者選抜方法における重点評価項目】

| 入試区分 | 学科 | 入学者選抜方法 | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力 | 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 |
|------------------------|------------------------------|-----------------------|-------|-------------|-----------------------|
| 外国人留学生特別選抜アジアブリッジプログラム | 数学科, 物理学科, 化学科, 生物科学科, 地球科学科 | 日本留学試験・日本語能力試験・英語資格試験 | ○ | ○ | |
| | | 面接 | ○ | ○ | ○ |

I 募集人員

文系 教育学部

理工系 理学部

} 若干名

II 出願資格

入学を志願できる人は、次の1)～4)の全てに該当する人に限ります。

- 1) 日本国籍を有しない人で、出入国管理および難民認定法に定められている「留学」の在留資格を有する人、または入学手続締切日までに「留学」の在留資格を取得できる見込みの人。
- 2) インド共和国、インドネシア共和国、ミャンマー連邦共和国、タイ王国、ベトナム社会主義共和国のいずれかの国籍を有する人。
- 3) 次の①から⑥のいずれかに該当する人。
 - ① インド共和国、インドネシア共和国、タイ王国、ベトナム社会主義共和国のいずれかの学校教育における12年の課程を修了した人、または、ミャンマー連邦共和国においてアテタン・アスイン・ピンニャーイェーの課程(旧ビルマ連邦社会主義共和国のアテタン・アスイン・ピンニャーイェーの課程を含む。)を修了した人(2026年9月30日までに修了見込みの人を含む)。または、これに準ずる人で日本国文部科学大臣の指定した人。
 - ② 上記①と同等以上の学力があると確認できる当該国の検定(国の検定に準ずるものを含む。)に合格した人で、2026年9月30日までに18歳に達する人。
 - ③ スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する人。
 - ④ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する人。
 - ⑤ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する人。
 - ⑥ 英国の大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバン

スト・レベル資格(以下「GCE・Aレベル資格」という)を有する人。なお、出願に必要な科目数や評価については、**[別表 2]**(p. 12)に示します。

- 4) 学校教育における12年の課程あるいはそれに相当する学習期間のうち、日本の中等教育学校(中学校および高等学校に相当)に在籍していた期間が通算して3年以内である人。日本にある外国人学校および外国にある日本の教育制度に準拠した学校に在籍した場合は、その在籍期間を日本の学校と同様に扱います。

出願資格について不明な点がある場合は、「**VIII 注意事項**」(p. 11)に示す窓口まで事前に問い合わせてください。出願に際し不正等があった場合は、入学許可後であっても入学許可を取り消すことがあります。

III 出願要件

次表「**1. 提出書類等一覧**」の8番に示す日本留学試験(EJU)実施回のうちいずれか一つの成績確認書または成績通知書、および2024年6月2日以降に受験した各種英語資格試験のスコアレポートを提出できること。出願に必要な受験科目は、**[別表 3]**(p. 13)に示すとおりです。

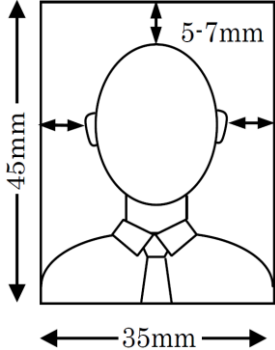
また、EJUの「日本語」科目についてのみ、次表「**1. 提出書類等一覧**」の10番に示す日本語能力試験(JLPT)実施回のうちいずれか一つの合否結果通知書を提出することで、出願要件を満たすものとします。

IV 出願手続き

出願する人は、「**1. 提出書類等一覧**」に掲げる全ての書類を所定の形式で用意しオンライン出願サイト上で提出してください。出願期間中に全ての書類を提出し、出願サイト上の「Final Submission」ボタンを押すことによって出願が完了します。記入漏れや虚偽の記載のあることが判明した場合は、出願を受理しないことがあります。

複数の学部・学科に出願することはできません。

1. 提出書類等一覧

| 番号 | 書類等名 | 形式提出 | 説明 |
|----|--------------------|--|--|
| 1 | 出願者情報 | 入力 オンライン | <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン出願サイトの画面上で必要事項を入力すること。 ・登録・出願には、パスポートもしくは各国の身分証に書かれているとおりの英語表記名を(省略せずに)使用すること。 ・出願者情報、各種試験のスコアを漏れなく入力すること。 |
| 2 | 日本語エッセイ (志望理由書) | 電子ファイル(PDF) | <ul style="list-style-type: none"> ・志望動機、興味のある学問分野、卒業後の進路希望などについて日本語500字程度で作成し、PDF形式で提出すること。(所定の書式を下記 ABP Web サイトからダウンロードし、冒頭に必ず受験番号と英語表記名を(省略せずに)記載のうえ、PDFに変換して提出すること) ・https://www.abp.icsu.shizuoka.ac.jp/u-admissions/ ※教育学部に出願する場合、志望理由に加え教員免許取得後の抱負についても書いてください。以下のサイトに、各学部および学科の概要を説明しています。https://www.abp.icsu.shizuoka.ac.jp/u-departments/ 教育学部を希望する人は 【ABP 教育学部への出願を検討している皆さんへ】 https://www.abp.icsu.shizuoka.ac.jp/wp-content/uploads/2024/09/abp_kyoiku.pdfをよく読み、教員免許の取得について確認をしてください。 |
| 3 | 顔写真 | 電子ファイル(PDF/JPG/GIF/PNGのいずれか・150 dpi以上) | <ul style="list-style-type: none"> ・次に示すサイズで、外枠から頭部まで 5-7mm の余白があるもの。  <p>写真イメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正面向き半身脱帽で、出願前 3 か月以内に撮影したもの。(ただし、宗教上の理由で頭部が覆われている場合、顔が鮮明に写っているものであれば差支えありません。) ・150 dpi 以上の解像度をもつもの。 |
| 4 | 成績 証明書 | 電子ファイル(PDF/JPG/GIF/PNGのいずれか・150 dpi以上) | <ul style="list-style-type: none"> ・出願者情報に入力した教育課程に基づき、出身学校長等が発行した高等学校(Upper Secondary School)各学年の成績証明書の写しを、電子ファイル形式で提出すること。 ・第 3 学年分については、提出時点までに修了した学期分の成績を提出すること。 ・出身学校の公印または校長のサインがあり、高校名が明記されていること。 ・日本語もしくは英語の記載が無い場合、日本語または英語の翻訳を成績証明書の電子ファイルと一緒に提出すること。 ・出願時に提出可能であれば高等学校の卒業試験結果を添えること。 |
| 5 | | | <p>[注意]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・翻訳は誰が行っても良いが、翻訳には翻訳を行った機関の公印、もしくは |

| | | | |
|----|----------------------------------|---------------------------------------|--|
| 6 | 第3学年分 | | <p>翻訳者の自筆のサインを必ずつけること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インドの教育制度による成績証明書については、中等学校の第10学年、第11学年および第12学年の3学年分の成績証明書を提出すること。 ・ミャンマーの教育制度による成績証明書については、前期中等学校の第4学年、並びに後期中等学校の第1学年および第2学年の3学年分の成績証明書を提出すること。あるいは、セーダン試験(高校卒業/大学入学資格試験)の結果(成績表)と合格証、およびその日本語または英語の翻訳を提出することで、成績証明書と修了証明書を提出したものと認める。 |
| 7 | 修了証明書 | | <ul style="list-style-type: none"> ・修了証明書または資格証明書等。 ・「II 出願資格3)」を満たす受験希望者のうち、①の修了者は、出身学校長等が発行した高等学校(Upper Secondary School)の修了証明書を、②の資格取得者は、その資格取得証明書の写しを提出すること。 ・いずれも公印の入った原本の写しを電子ファイル形式で提出すること。 <p>[注意]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高等学校に在学中の方は、修了証明書およびこれに準ずる書類を提出する必要はありません。 |
| 8 | 日本留学試験(EJU)の成績確認書または成績通知書 | 電子ファイル(PDF/JPG/GIF/PNG)のいずれか・150dpi以上 | <ul style="list-style-type: none"> ・次の実施回のうち、いずれか一つの成績確認書(EJU オンラインから印刷したもの)または成績通知書(郵送されたもの)の写しを電子ファイル形式で提出すること。 2024年度第1回、2024年度第2回 2025年度第1回、2025年度第2回 <p>[注意]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績は静岡大学が日本学生支援機構(JASSO)に照会し、確認します。 ・出願締切り後に、成績確認書または成績通知書を差し替えることはできません。 |
| 9 | TOEIC®&R 他英語資格試験のスコアレポート | | <ul style="list-style-type: none"> ・2024年6月2日以降に受験した TOEIC®L&R、TOEFL iBT®Home Edition、TOEFL iBT®、IELTS (Academic Module) テストのうち、いずれか一つのスコアレポートの写しを電子ファイル形式で提出すること。 ・スコアレポートは受験者の氏名、生年月日が記載されており、顔写真付きであること。 ・TOEIC®L&R IP テスト、TOEFL ITP®テスト、IELTS (General Training Module) テストは使用不可とする。 |
| 10 | 日本語能力試験(JLPT)の合否結果通知書 | | <ul style="list-style-type: none"> ・EJUの「日本語」科目を受験していない場合、JLPTの合否結果通知書を提出しないと出願することができません。 ・EJUの「日本語」科目を受験している場合でも、JLPTの合否結果通知書があれば必ず提出してください。 ・次の実施回のうち、いずれか一つの合否結果通知書の写しを電子ファイル形式で提出すること。 2024年度第1回、2024年度第2回、 2025年度第1回、2025年度第2回 |
| 11 | 受験許可書 ※出願者が官公庁、企業等に在職している場合のみ | | <ul style="list-style-type: none"> ・理学部を志望する出願者のうち、官公庁、企業等に在職している者は、所属する官公庁、企業等の責任者が記名押印したものを電子ファイル形式で提出すること。 ・所定の書式を下記 ABP Web サイトからダウンロードし、作成すること。 https://www.abp.icsu.shizuoka.ac.jp/u-admissions/ |

*TOEIC、TOEFL、TOEFL iBT および TOEFL ITP はエデュケーション・テスト・サービス(ETS)の登録商標です。この印刷物はETSの検討を受けましたその承認を得たものではありません。

2. 出願方法

出願は、全てオンラインで行います。オンライン出願サイトから画面の指示に従って出願してください。オンライン出願サイトは出願期間中のみ公開されます。詳細は次のABP Webサイトで確認してください。

<https://www.abp.icsu.shizuoka.ac.jp>

システムの不具合等により出願手続きがうまく行えない場合は、次のEメールアドレスに問い合わせてください。

abpquery@adb.shizuoka.ac.jp

3. 出願期間

2026年6月1日(月)日本時間正午～6月9日(火)日本時間正午

4. 出願から入学までの日程

詳しくは、各項の説明を確認してください。

| 各手続き | | 日程・期間(いずれも日本時間) |
|-------------------------|------|-----------------------------------|
| 出願 | | 2026年6月1日(月)正午～6月9日(火)正午 |
| 第一次選抜合格発表 | | 2026年6月30日(火)正午 |
| 接続チェック日時の調整 | | 2026年6月30日(火)～7月2日(木) |
| 受験票送付(接続チェック・面接試験日時の通知) | | 2026年7月6日(月) |
| オンライン面接接続チェック | | 2026年7月8日(水)～7月10日(金)の期間中いずれかの日時 |
| 面接試験 | 教育学部 | 2026年7月13日(月)～7月17日(金)の期間中いずれかの日時 |
| | 理学部 | |
| 第二次選抜合格発表 | | 2026年7月28日(火) |
| 入学手続き | | 2026年8月～9月下旬 |
| 入学日 | | 2026年10月1日(木) |

V 選抜方法

1. 選抜方法・配点

第一次選抜

第一次選抜は、日本語能力試験(EJU「日本語」・JLPT)、科目試験(EJU「理科」「総合科目」「数学」)および英語資格試験の点数をもとに判断します。ただし、p.10 に示す各学部第二次選抜の得点区分①の得点が、配点の50%に満たない場合は、合格対象者から除外します。

第二次選抜

第一次選抜合格者について面接試験を実施のうえ、次の選抜方法・配点に基づき可否を判定します。

1) 教育学部

| 学校教育教員養成課程 | | |
|------------------------------------|---|--------------------|
| 選抜方法・配点 | 第一次選抜合格者について、EJU(「総合科目」「数学」)、英語資格試験および面接試験の成績により合格者を決定します。面接試験での使用言語は日本語です。 下表に示す①試験と②面接試験の得点を算出し、それぞれの配点の50%を合格の最低ラインとし、成績上位者から総合的に判断し合格とします。 | |
| | 得点区分 | 科目(EJU・英語)・面接試験 |
| | ①試験 | 総合科目(200点) |
| | | 数学(コース1または2)(200点) |
| ②面接試験 | 面接試験 | |
| 英語資格試験は、それぞれの試験の満点を100点に換算して利用します。 | | |

2) 理学部

| 学科 | 数学科、物理学科、化学科、生物科学科、地球科学科 | |
|--|---|-----------------|
| 選抜方法・配点 | 第一次選抜合格者について、EJU(「理科」「数学」)、英語資格試験および面接試験の成績により合格者を決定します。面接試験での使用言語は日本語および英語です。面接試験は口頭試問(専門分野に関する質問)を含みます。 下表に示す①学力と②コミュニケーション力の得点を算出し、それぞれの配点の50%を合格の最低ラインとし、成績上位者から総合的に判断し合格とします。 | |
| | 得点区分 | 科目(EJU・英語)・面接試験 |
| | ①学力 | 理科(200点) |
| | | 数学(コース2)(200点) |
| ②コミュニケーション力 | 英語資格試験(100点) | |
| 面接試験(口頭試問を含む)(350点) | | |
| 英語資格試験は、CEFRの定める換算表を参考に100点満点に換算して利用します。 | | |

2. 第二次選抜について

面接試験は出願者個人とのオンライン面接(Zoom 面接)で行います。第一次選抜合格者と調整し、オンライン面接接続チェックの日時を決定します。詳細は第一次選抜合格者に E メールで連絡します。オンライン面接を受験する出願者は高速かつ安定してインターネット通信ができる環境を準備してください。

接続不良のために、各学部の定める期間内に面接試験が完了できない場合は面接試験を欠席したものとみなします。

VI 合格発表

第一次選抜・第二次選抜の合否結果は次表の日程で出願者に対し E メールで通知します。また第二次選抜の合格者は ABP Web サイト(<https://www.abp.icsu.shizuoka.ac.jp>) でも公表します。

| | |
|-----------|-----------------|
| 第一次選抜合格発表 | 2026年6月30日(火)正午 |
| 第二次選抜合格発表 | 2026年7月28日(火)正午 |

VII 入学手続きと入学日

詳細に関しては合格者に E メールで通知します。入学手続きに必要な書類を指定された期日までに提出できない場合は、入学許可後であっても入学許可を取り消すことがあります。

| | |
|-------|---------------|
| 入学手続き | 2026年9月下旬 |
| 入学日 | 2026年10月1日(木) |

VIII 注意事項

1. 入学検定料および授業料

入学検定料および入学料については徴収しません。授業料については、1年目は徴収しません。さらに2～4年目は成績により授業料の100%もしくは50%が不徴収、あるいは全額徴収となります。授業料の他に必要な諸経費が発生することがあります。

2. 入学に係る初期費用(概要)

| 事項 | | 費用 (2025年時点) |
|----|--|---|
| 1 | 学生生活関係諸経費 ・学生教育研究災害傷害保険料・学研災付帯賠償責任保険等(4年間分) ・学生福利厚生会費(4年間分) など | 2～4万円程度 (学部、学科によって異なります。その他、住居にかかる保険料等が発生することがあります。) |
| 2 | ノート型パーソナルコンピュータの購入費 (推奨) | ・情報学部 税込み 20～25万円程度 ・理学部 生物科学科 税込み 18～21万円程度 ・工学部 税込み 19万円程度 (詳細は入学時に学部から案内があります。) |
| 3 | 寮費(静岡大学国際交流会館) | 寄宿料:月額約 25,000 円 共益費:月額約 3,000 円 退去時清掃費:5,500 円～13,200 円 |

※入学手続き終了後、この他に、諸経費の納付およびその他関係書類の提出が必要となる場合があります。

3. 入学後の住居および生活費

入学後の住居として、静岡大学学生寮(静岡国際交流会館、浜松国際交流会館またはあけぼの寮)に少なくとも2年間入居することになります。寮費は寮により異なります。上記寄宿料は上限額を示しています。合格者には、入学手続きの一環として、個別に連絡します。寮の詳細は以下のWebサイトを参照してください。

<https://www.suoic.shizuoka.ac.jp/international/dwelling/>

また、入学後の生活費は個人負担です。食費・寮費・雑費などを併せて、月額約7～8万円必要です。

4. 問い合わせ先

〔窓口〕 静岡大学 国際課

〔Eメールアドレス〕 abpquery@adb.shizuoka.ac.jp

5. 試験結果の開示申請

第二次選抜の不合格者を対象として、入学試験成績等の開示申請を受け付けます。申請は次の窓口へ、指定の受付期間内に E メールで行ってください。折り返し、申請の手続きおよび必要な書類等について連絡します。指定の受付期間外の申請は受理しませんので注意してください。

〔窓口〕 静岡大学 国際課

〔E メールアドレス〕 abpquery@adb.shizuoka.ac.jp

〔開示申請の受付期間〕 2026 年 11 月 16 日(月)～12 月 15 日(火) (日本時間正午)

6. 個人情報の取扱いについて

個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」および「静岡大学個人情報管理規則」に基づいて、次のとおり取扱います。

- ① 出願書類に記載された個人情報および入学者選抜に用いた試験成績については、a. 入学者選抜(出願処理、選抜実施)、b. 合格発表、c. 入学手続業務、d. 入学者選抜方法および大学教育改善のための調査・研究を行うために利用します。
- ② 入学者の個人情報については、a. 教務関係(学籍、修学指導等)、b. 学生支援関係(健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等)、c. 授業料徴収、d. 入学者選抜方法および大学教育改善のための調査・研究に関する業務を行うために利用します。
- ③ 上記①および②の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者(以下、「受託業者」という。)において行うことがあります。受託業者には、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、個人情報の全部または一部を提供します。

7. 安全保障輸出管理について

静岡大学では、「外国為替および外国貿易法」に基づき、「静岡大学安全保障輸出管理規則」を定め、外国人留学生の受入れに際し厳格な審査を実施しています。規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、注意してください。

〔別表 1〕 各学部が求める日本語能力の目安

| 学部・学科 | どちらか一方を満たすことが求められる | |
|-------|--------------------|--------------|
| | EJU 「日本語」科目 | JLPT |
| 教育学部 | 240 点以上 | N1 合格 |
| 理学部 | 220 点以上 | N1 または N2 合格 |

〔別表 2〕 GCE・A レベル資格の扱いについて

英国の大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスド・レベル (General Certificate of Education Advanced Level) 資格を有する者に出願資格を認めます。

出願に必要な科目数や評価は次のとおりです。

GCE・A レベル資格 学部別基準

| | |
|------|---|
| 教育学部 | <ul style="list-style-type: none">・A レベル試験 3 科目・AS レベル試験 2 科目が A レベル試験 1 科目に相当するものとします。・成績は合格 (E 評価以上) のものに限りします。 |
| 理学部 | <ul style="list-style-type: none">・A レベル試験 1 科目以上・AS レベル試験 2 科目が A レベル試験 1 科目に相当するものとします。・成績は合格 (E 評価以上) のものに限りします。 |

[別表 3] 出願に必要な受験科目

下記に示す科目を受験していない場合には、出願することができません。

ただし、EJU の「日本語」科目についてのみ、過去 2 年以内に受験した日本語能力試験 (JLPT) のスコアを提出することで出願要件を満たすものとします。

| 学部 | 学科・課程 | 日本留学試験 (EJU)・日本語能力試験 (JLPT) | | | | 英語 資格試験 |
|------|------------|-------------------------------------|---------------------|------|-------------|----------------------------------|
| | | 日本語 | 理科 | 総合科目 | 数学 | |
| | | EJU (400 点満点) 聴解・聴読解・ 読解/JLPT | (各 200 点満点・英語での受験可) | | | |
| 教育学部 | 学校教育教員養成課程 | ○ | | ○ | コース 1 または 2 | 以下のうち いずれか 一つ |
| 理学部 | 数学科 | ○ | 物・化・生から 2 科目自由選択 | | コース 2 | TOEIC® L&R |
| | 物理学科 | ○ | 物理必修 他 1 科目自由選択 | | コース 2 | TOEFL iBT® Home Edition |
| | 化学科 | ○ | 化学必修 他 1 科目自由選択 | | コース 2 | TOEFL iBT® |
| | 生物科学科 | ○ | 物・化・生から 2 科目自由選択 | | コース 2 | IELTS (Academic Module) |
| | 地球科学科 | ○ | 物・化・生から 2 科目自由選択 | | コース 2 | |